

まちのニュース



8/17 幕別盆踊りの会場でみかけた元気な子どもたち



いつまでもお元気で

7/15 鈴木ヨシさん百歳のお祝い

札幌市の老人保健施設あかしゃに入所されている鈴木ヨシさんが百歳を迎えられ、お祝いに岡田町長が施設を訪れました。車椅子に乗って会場に現れたヨシさんは、町長や周りの方の語りかけに、じっと目を見て聞き入り、しっかりとした手つきでお祝いの品物を受け取りました。

いつまでも元気に過ごしてくださいね。

日本語、たくさん覚えました

7/20 江陵高校留学生帰国挨拶

インドネシアから、江陵高校に留学生として来日していた、インネケプスピタ・フランシスカさんがこのたび帰国することになり、挨拶を訪れました。高校、そして日本での思い出を笑顔で語ってくれたフランシスカさん。昨年、来日の挨拶の時とは比べられないくらい上手な日本語で話してくれました。帰国しても幕別町のことを忘れないでください。



自分たちの地域をきれいに

7/20 札幌東中クリーン作戦

今年も、札幌東中学校の全校生徒による地域のゴミ拾い・クリーン作戦がありました。この日はとても暑い日となりましたが、地域のみなさんも参加し、中学生とともにゴミ拾いに汗を流してくれました。地域が学校活動を支えることも、そして学校や生徒がこうした活動を通して地域に役立つことも、とても大切なんだな、と改めて実感した一日でした。

やったね、全国出場！

7/21 幕中卓球・陸上部全国大会出場報告

教育委員会に、幕別中学校の卓球部と陸上部の生徒が、それぞれ全国大会に出場するため、希望を胸に報告に来てくれました。元気いっぱい、笑顔いっぱいの生徒たちは、全国大会での抱負をしっかりとした口調で語ってくれました。幕別の中学生は夏も冬も、どんなスポーツにも強いことを、ぜひ全国の舞台で観客の目に焼き付けてきてくださいね。がんばって！



明るい社会への小さな一歩

7/25 明るい社会を作る運動

この日、札内の大型スーパーの玄関前で、明るい社会を作る運動の広報活動として、パンフレットとティッシュが配られました。この活動には、江陵高校の生徒会の生徒も参加してくれ、道行く買い物帰りの皆さんに、ティッシュを配りながら活動をPRしました。

笑顔あふれる、住みよい明るいまちになって欲しいなと願っています。



楽しかったです、ふまねっと

7/27 高橋はるみ北海道知事来町

この日、旭町の幕別北交流館前に出迎えた町民の前にバスから降りてきたのは…。高橋はるみ北海道知事が来町し、高齢者の健康対策の活動「ふまねっと」を体験されました。最初は慣れないリズムと動きにとまどいながらも、サポーターに指導を受けながら、メンバーのみなさんとともに、手拍子を交え、和気あいあいと笑顔で楽しめました。



真っ黒に日焼した笑顔で

7/27 幕別札幌FC全道大会出場報告

先に行われた帯広地区予選で見事に優勝し、サッカーの全道大会への出場権を獲得した幕別札幌FCのメンバーが、挨拶に訪れました。お揃いのユニフォームに真っ黒に日焼した顔で来てくれたメンバーは、力強く抱負を語ってくれました。勝敗にこだわらず、全道大会の大きなピッチで、のびのびとプレーして来て欲しいですね。ケガのないようがんばれ～！





交通事故に気をつけて

7/28 幕別町老人クラブ連合会

幕別町老人クラブ連合会の皆さんが、「悲惨な交通事故に気をつけて」と、幕別町本町の駅前交差点で、交通安全の呼びかけを行いました。

町民会館で、交通安全推進大会を開催後、参加したたくさん会員が歩道に並び、黄色い旗を振って、道行くドライバーの皆さんに、交通安全を呼び掛けました。

豊穣の秋を祈って安全第一で

7/29 町長・議長らが小麦刈り取りを激励

春先の天候不順や、その後の猛暑などの影響で、心配されていた農産物ですが、作況調査では回復傾向になってきていました。秋蒔きの小麦が収穫時期を迎え、作業の安全を願って激励に訪れました。この時期に収穫作業をする方、コンバインを運転する方は、夜も作業をすることが多いため、疲れがたまっている様子でした。安全第一で気をつけて作業をしてくださいね。



おいしそうにできあがりしました

7/30 こどもクッキング教室

百年記念ホールでは、夏休みに入った小学生を対象に、クッキング教室が開かれました。食生活改善協議会のメンバーのお手伝いを受けながら、初々しいエプロン・三角巾姿で一生懸命調理しました。できあがった料理はどれもおいしそうで、きれいにできあがった料理をみて、どの子どもとも満足そうでした。「いただきます」の前に帰ってきましたが、味はどうだったのかなあ。

夏の夜の賑わい

7/31 ちゅうるい夏まつり

今年で13回目となる「ちゅうるい夏まつり」。

当日は、天候もよく、お祭りが始まるころには、多くの方が会場に集まっていました。

バトントワリングやカウボーイダンス、三味線ライブなど会場の盛り上がりは最高潮に。

最後には、忠類地域のイベントにはつきものの”もちまき”も行われ、夏の暑さに負けないような熱気で大いに賑わっていました。



本物と見分けがつかません

8/4 足寄化石動物博物館よりレプリカを寄贈
町内では、これまでに約150万年前のクジラやアシカなどの化石が見つかっています。今回、足寄動物化石博物館がレプリカを製作し、幕別町に寄贈していただきました。

本物とそっくりなレプリカですが、手に持つと意外と軽く、理由を聞くと、「重いと展示ケースが壊れるから」だそうです。なるほど。



平和を祈って

8/5 平和祈念講演

被爆体験から、核兵器廃絶の運動にかかわり、語り部として活動する、中村悦雄氏を講師に講演会が開かれました。

中村さんが、中学2年生のときの学徒動員中に被爆し、たくさんの友だちを失った体験を通して、核兵器の恐ろしさや、平和の大切さを訴えました。

核兵器の無い世界、平和な世界が訪れることを祈りながら、聞き入っていました。



千羽鶴、平和を願い飛んで行け

8/12 平和を願い、千羽鶴を寄贈

原爆パネル展や平和祈念講演の開催に合わせ、展示会場や公共機関窓口でみなさんに呼びかけて折っていただいた千羽鶴。つくし学童の子どもたちや旭町の婦人部のみなさんをはじめ、たくさんの方が世界の平和を祈って参加してくれました。みなさんの思いの詰まった鶴たちは、広島へ平和を願い飛んでいきました。到着後は、「原爆の子」の像の周辺に飾られています。



去る夏を惜しんで踊りましょう

8/17 まくべつ盆踊り

今年の夏は猛暑でした。そんな夏ももうあと数日。去り行く夏を惜しんで、盆踊りが行われました。かわいらしい子ども盆踊りから始まり、今年もユニークな衣装をした団体・個人のたくさんのみなさんがお祭りを盛り上げてくれました。車椅子の子や脚の不自由な方も一緒に参加してくれたひまわりの家の皆さんも、最後まで元気に踊ってくれましたね。